

平成26年2月12日

上場会社名 永大産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7822 URL <http://www.eidai.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大道 正人

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 千嶋 祐三

TEL 06-6684-3020

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	48,750	6.5	2,979	99.9	3,230	87.4	1,981	78.1
25年3月期第3四半期	45,777	1.9	1,490	125.7	1,724	117.8	1,112	129.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,263百万円 (106.3%) 25年3月期第3四半期 1,097百万円 (78.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	43.12	—
25年3月期第3四半期	24.21	—

(注) 第1四半期連結累計期間より、賃貸用不動産に係る収入の増加が見込まれることから、受取賃貸料を営業外収益から売上高に、賃貸収入原価を営業外費用から売上原価に各々表示方法を変更しております。

平成25年3月期第3四半期につきましても当該表示方法の変更に伴う組替後の数値及び対前年四半期増減率を記載しております。

詳細は添付資料P. 7「3. 四半期連結財務諸表(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(追加情報)」をご参照ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	65,843	42,981	65.3	935.44
25年3月期	63,670	41,176	64.7	896.17

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 42,981百万円 25年3月期 41,176百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,570	6.6	3,750	81.9	4,000	69.2	2,500	49.3	54.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期の連結業績予想につきまして、表示方法の変更を反映した前年度数値と比較した増減率を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	46,783,800 株	25年3月期	46,783,800 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	836,431 株	25年3月期	835,995 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	45,947,431 株	25年3月期3Q	45,947,811 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却に向けた各種経済政策により円高の是正や株価の上昇が進み、個人消費が持ち直しの動きを見せるなど回復基調となりました。

新設住宅着工戸数につきましては、消費増税前の駆け込み需要の顕在化及び住宅ローン金利や住宅価格の先高感などを背景に住宅の購買マインドが高まり、堅調に推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは他社と差別化した新製品の開発による販売シェア拡大に注力しました。建材分野では、木材利用ポイント制度の対象製品である「日本の森活性化フローリング 里床・ツキ板」を積極的に提案するなど、引き続き拡販に努めました。内装システム分野では、一般住宅をターゲットに販売してきたシニアマーケット向け「セーフケアプラス」製品群に、サービス付き高齢者向け住宅やシニア施設向けの室内ドア、シューズボックス、システム収納などを品揃えし、非住宅市場での販売強化を図りました。住設分野では、開放的な空間を追求したステンレス製キッチン「ゲートスタイルキッチンS-1」をリニューアルし、収納力の向上やプランラインナップを追加するなどバリエーションを充実させました。一方、為替相場の変動による原材料高騰の影響を抑制するべく調達先の多様化や仕様見直しを進め、コスト低減に努めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高48,750百万円（前年同四半期比6.5%増）、営業利益2,979百万円（同99.9%増）、経常利益3,230百万円（同87.4%増）、四半期純利益1,981百万円（同78.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は65,843百万円となり前連結会計年度末に比べ2,172百万円の増加、負債は22,862百万円となり同年度末に比べ368百万円の増加、純資産は42,981百万円となり同年度末に比べ1,804百万円の増加となりました。

総資産は、現金及び預金が減少しましたが、たな卸資産、受取手形及び売掛金、有形固定資産が増加したことなどにより増加しました。負債は、主に買掛金、未払法人税等が増加したことにより増加しました。純資産は、配当金を支払いましたが、四半期純利益を計上したことなどにより増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の景気見通しにつきましては、海外経済の下振れや為替相場の変動による輸入諸資材の高騰など企業収益を下押しするリスクが残されているものの、成長戦略を推進する各種政策に下支えされ、引き続き回復基調で推移すると考えております。

平成26年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月7日付「平成25年3月期 決算短信」にて公表しました数値から変更しております。詳細につきましては、本日公表しております「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,841	8,304
受取手形及び売掛金	21,297	22,599
電子記録債権	561	542
有価証券	3,999	3,979
製品	3,678	4,379
仕掛品	1,697	2,001
原材料及び貯蔵品	3,219	4,684
繰延税金資産	357	357
未収入金	1,860	2,074
その他	199	287
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	47,711	49,209
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,014	4,062
機械装置及び運搬具（純額）	1,837	1,932
土地	3,587	3,587
リース資産（純額）	86	58
建設仮勘定	107	328
その他（純額）	121	176
有形固定資産合計	9,753	10,144
無形固定資産	246	283
投資その他の資産		
投資有価証券	3,848	4,139
出資金	6	6
長期前払費用	342	325
繰延税金資産	152	152
長期預金	1,000	1,000
その他	627	601
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	5,958	6,206
固定資産合計	15,959	16,634
資産合計	63,670	65,843

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,615	14,153
電子記録債務	—	100
リース債務	40	40
未払金	3,394	3,418
未払費用	576	658
未払法人税等	750	881
未払消費税等	296	118
賞与引当金	487	171
その他	89	179
流動負債合計	19,251	19,722
固定負債		
リース債務	50	20
繰延税金負債	272	344
退職給付引当金	2,253	2,174
環境対策引当金	43	42
資産除去債務	12	5
負ののれん	412	345
長期預り保証金	90	107
その他	106	97
固定負債合計	3,241	3,139
負債合計	22,493	22,862
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,285	3,285
資本剰余金	1,370	1,370
利益剰余金	35,499	37,021
自己株式	△157	△157
株主資本合計	39,997	41,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,137	1,304
為替換算調整勘定	42	157
その他の包括利益累計額合計	1,179	1,462
純資産合計	41,176	42,981
負債純資産合計	63,670	65,843

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	45,777	48,750
売上原価	34,679	35,692
売上総利益	11,097	13,057
販売費及び一般管理費	9,607	10,077
営業利益	1,490	2,979
営業外収益		
受取利息	30	29
受取配当金	48	62
仕入割引	62	50
為替差益	25	87
負ののれん償却額	66	66
持分法による投資利益	47	51
雑収入	86	75
営業外収益合計	367	424
営業外費用		
売上割引	92	99
雑損失	40	73
営業外費用合計	133	173
経常利益	1,724	3,230
特別利益		
固定資産売却益	2	2
受取補償金	7	0
特別利益合計	9	3
特別損失		
減損損失	—	6
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	8	20
特別損失合計	8	26
税金等調整前四半期純利益	1,725	3,207
法人税等	613	1,225
少数株主損益調整前四半期純利益	1,112	1,981
四半期純利益	1,112	1,981

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,112	1,981
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	166
為替換算調整勘定	△27	115
その他の包括利益合計	△14	282
四半期包括利益	1,097	2,263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,097	2,263
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

前第3四半期連結累計期間におきましては、賃貸用不動産に係る受取賃貸料は営業外収益の「受取賃貸料」に、賃貸収入原価は営業外費用の「賃貸収入原価」に含めて表示しておりました。今後、不動産賃貸に係る収入の増加が見込まれることから、実態をより適切に表示するため、第1四半期連結累計期間より、それぞれ売上高、売上原価に含めて表示しております。

前第3四半期連結累計期間につきましても、この表示方法の変更を反映させ、営業外収益の「受取賃貸料」に含めて表示していた41百万円は「売上高」に、営業外費用の「賃貸収入原価」に含めて表示していた18百万円は「売上原価」に組み替えております。

また、同様の事由により、前連結会計年度において、投資その他の資産の「投資不動産（純額）」として表示していた1,054百万円は、有形固定資産の「建物及び構築物（純額）」658百万円、「土地」386百万円、「その他（純額）」8百万円、無形固定資産2百万円に組み替えております。